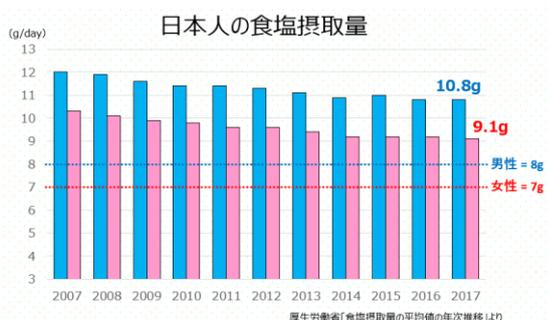


カルビー × ヘルスケアシステムズ グラノーラ摂取と食塩摂取量の関係を検証

《第8回 臨床高血圧フォーラム》で発表されました

株式会社ヘルスケアシステムズ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：瀧本陽介）は、カルビー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO：伊藤秀二）と共同で、朝食のグラノーラが食塩摂取量に与える影響について検証し、その成果を第8回臨床高血圧フォーラムにおいて発表いたしました。

■本研究の背景と目的



厚生労働省が発表する日本の高血圧患者数（継続的な治療を受けていると推測される）は1000万人を越え、その要因のひとつに食塩の過剰摂取が挙げられています。昨今の減塩の取り組みによって日本人の食塩摂取量は平均で男性10.8g、女性9.1gと年々減少傾向にありますが、厚生労働省の定める目標値（男性8.0g、女性7.0g）にはまだまだ至っていません。

一般的な朝食で摂取する食塩量が3～5gであるのに対して、グラノーラは1食あたりの食塩含有量が0.5gと低く、減塩が期待されています。

そこで、朝食を2週間グラノーラに置き換えたときの食塩摂取量の変化を郵送検査キット減塩検定「シオチェック®」を使用して調査することで、実際にどのように影響を与えるかを検証しました。

■本研究の調査方法



ヘルスケアシステムズで公募した29名の女性を対象に、2週間毎日普段の朝食の代わりに「フルグラ®」を摂取して摂取前後で減塩検定「シオチェック®」による尿検査を実施し、食塩摂取量の変化を検証しました。

■本研究の成果

摂取前の尿検査で食塩摂取量が日本人女性の食塩摂取量平均値（9.1g）を超える9名を抽出して層別解析したところ、摂取前後で食塩摂取量が平均で1.14g減少したことがわかりました。普段の食事において食塩摂取量が多い人に対して、朝食をグラノーラに置き換えるだけで1.14gの減塩が出来たことは、大変有益な結果であると言えます。

この成果は、カルビー株式会社と株式会社ヘルスケアシステムズの連名によって、第8回臨床高血圧フォーラムにおいて発表されました。

■今後の展望

近年、消費者の健康志向の高まりとともに食品の健康効果に対してエビデンス（科学的根拠）が求められるようになりました。その一方で、信頼できるエビデンスとしてヒトを対象とした有効性の検証が不可欠ですが、その検証には膨大な時間と費用がかかります。

本研究において、減塩が期待される食品が、実際にユーザーの方の食塩摂取量にどのように影響するのかを当社の郵送検査キットを用いることで短期間のうちに解析を行いデータ化することが出来ました。今後は、引き続きカルビー株式会社と朝食のグラノーラへの置き換えによる減塩と血圧への影響をより規模を拡大して解析するとともに、信頼性の高い生活習慣病予防におけるエビデンスの確立に貢献していきたいと考えています。

■研究メンバー

カルビー株式会社 研究開発本部研究部 増富 裕文

カルビー株式会社 研究開発本部研究部 石原 克之

株式会社ヘルスケアシステムズ 安竹 良礼

株式会社ヘルスケアシステムズ 石川 大仁

ヘルスケアシステムズは、名古屋大学発ベンチャーとして長年の食品機能性研究という科学的エビデンスに基づき、身近な食材や生活習慣に関係するバイオマーカーや検査技術の研究およびサービスの開発を行っております。医療機関・大学・自治体・メーカーとの共同研究および受託分析や臨床試験の依頼を承っております。

株式会社ヘルスケアシステムズ

設立：2009年3月

代表者：瀧本陽介

本社：〒464-0858 愛知県名古屋市中種区千種 2-22-8 名古屋医工連携インキュベーター105

東京：〒105-0004 東京都港区新橋 4-6-15 日新建物新橋ビル 7F

業務：郵送検査事業、バイオマーカー、検体検査技術の研究開発、機能性食品の臨床試験・受託研究

URL: <https://hc-sys.com/> <https://karadacheck.com>